

(参考) 観光文化スポーツ部

事業名	あきた食品産業活性化対策事業			担当	まるごと売込み班	
事業年度	令和2～4	事業主体	県・民間事業者	当初予算額	7,323千円	
事業目的	県内食品製造事業者が取り組む新技術等を活用した商品の製造設備の導入や中食・外食市場への販路開拓を支援し、県内の食品製造業の活性化を図る。			財源内訳	国庫	3,373千円
					諸収入	5千円
					一般	3,945千円
実施内容	1 あきた食品産業活性化モデル育成事業				266千円	
	食品事業者が新技術や地域資源を活用し、新たな発想のもとに取り組む商品開発に対して必要となる初期投資費用について支援する。併せて、協調融資を行う金融機関等と支援チームを設置し、原材料調達から販路開拓まで多方面にわたるフォローアップを行う。					
実施内容	2 マーケットニーズ対応型商材販路開拓事業				7,057千円	
	消費者ニーズが高まっている中食・外食市場への販路開拓にチャレンジしようとする県内食品事業者と首都圏等の中食・外食企業とのマッチング等を行う。当該事業の進め方として、県内食品業者に精通したマッチング推進員を配置し、販路開拓に前向きな県内事業者と、中食・外食バイヤーやその流通ベンダーとのマッチングを図り、小売商品から業務用へとニーズの高い商材に改良することで、新たな商流構築を支援する。 (1) マッチング推進員 1名を総合食品研究センターに配置 (2) 選定企業数 ①中食・外食等の企業 10社程度 ②県内食品事業者 10者程度 (HACCP認定施設を有する企業又は取得しようとする事業者、業務用商材の販路開拓に前向きな事業者)					

事業名	時代に対応する新たなコメ加工産業創造事業			担当	まるごと売込み班	
事業年度	令和3～5	事業主体	県・民間事業者	当初予算額	7,849千円	
事業目的	あきたコメ活プロジェクト推進協議会の運営を支援するとともに、「サキホコレ」や新たな消費ニーズに対応した商品開発実証及び商品評価・改良検討会の実施と販路拡大支援により、コメ加工商品の製造出荷額拡大と食品産業の振興を図る。			財源内訳	国庫	3,570千円
					一般	4,279千円
実施内容	1 あきたコメ活プロジェクト推進協議会の運営支援				168千円	
	原料米の確保から商品開発・販路開拓を県内事業者等が連携、協調しながら推進するための協議会を開催する。 (1) 協議会の開催(年2回) ①構成 食品加工、流通販売の116事業者及び秋田県味噌醤油工業協同組合や秋田県酒造組合などの11関係団体 (2) 開発商品発表会の開催(年1回)					
実施内容	2 開発商品販路拡大支援事業				7,681千円	
	(1) 新商品開発を行う事業者への支援 積極的に商品開発に取り組む事業者に対し、商品企画から試作、パッケージ、商流の検討などの段階に応じてサポートし、商品評価検討会を実施することで円滑な商品化を支援する。また、首都圏等で開催される展示会への出展や、量販店等でのフェアの開催により、販路開拓、拡大を図る。 ①「コメ活商品企画・評価検討会」の実施 商品開発や販路開拓を行う食品事業者に対し、開発段階に応じた商品改良など専門家等を活用した助言を行い、完成度の高い商品開発と迅速な市場への投入を図る。 ア 専門家による現地訪問・オンラインによる個別指導の実施 イ 商品評価検討会の開催(3回) (2) 首都圏への販路拡大支援 (1)で開発した「サキホコレ」等の新商品を首都圏で開催される展示会への出展や県内外で開催する「米どころ秋田フェア」により、取引額の拡大と県産コメ加工品の認知度向上を図る。 ①首都圏で開催される展示会への出展による商談支援(3回) ②県内外量販店等での販促活動(首都圏2回、県内1回)					

事業名	あきた食品産業SDGsモデル推進事業		担当	まるごと売込み班
事業年度	令和4～6	事業主体	県・民間事業者	
事業目的	県内食品業界全体でSDGsの推進に取り組み、経営体質の改善を図るとともに、その内容を広く周知することで、県産食品の価値を向上させ、輸出を含む国内外での販路拡大につなげていく。		財	12,477千円
			源	
			内	
			訳	
実施内容	1 あきた食品産業SDGs推進体制整備事業			273千円
	県内食品産業界におけるSDGsの理念・取組の普及を図る推進母体として「あきた食品産業SDGs推進会議（仮称）」を設置し、県内食品事業者へのSDGsの普及啓発を図る。			
	2 美の国あきた発ヘルスケア商品創出・販路開拓事業			9,143千円
	米糠、酒粕、大豆種皮など、食品製造過程で発生する未利用・低利用資源を活用し、県オリジナルな優良酵母・菌類が多いという秋田の強みを活かしたヘルスケア商品を開発するとともに、当該分野への進出・拡大しようとする企業を育成する。 （1）美の国あきた発ヘルスケア商品創出事業 ①美の国あきた発のヘルスケア産業創出に向けた研究会の設置・運営 ②保健機能食品等の開発に資する微生物研究の推進 ③低利用資源を用いたヘルスケア商品の開発 （2）美の国あきた発ヘルスケア商品販路開拓事業 ①開発されたヘルスケア商品の展示会への出展			
3 資源循環型酒造りモデル実証事業			3,061千円	
清酒造りの過程で大量に発生する酒粕を用いた良質堆肥の製造技術を確認し、酒米生産現場への普及を図るとともに、地域資源の循環で醸造された清酒のブランド化を図る。 （1）酒粕堆肥製造技術の確認及び酒米栽培実証試験の実施 （2）酒粕堆肥利用米を用いた清酒の試験醸造、評価				

事業名	アンテナショップ運営事業		担当	調整・食品振興班
事業年度	平成23～	事業主体	県	
事業目的	東京と福岡のアンテナショップの情報発信機能の充実や県産品の販売拡大を図るため、店舗を利用したイベントや商談会を開催する。		財	62,673千円
			源	24,019千円
			内	38,654千円
			訳	
実施内容	1 東京アンテナショップ運営事業			61,854千円
	（1）店舗賃料			
	（2）アンテナショップの運営強化 ①運営協議会への参画（2か月に1回）、衛生管理講習会（年4回）、店舗改善講習会（年2回）			
	（3）店舗及び店舗前広場を活用した情報の受発信の強化 ①客層の拡大や来場者を増大させるためのイベントの開催 ア 物産・観光PRイベント 収穫祭、冬祭り、周年祭 イ 京急あきたフェア関連イベント（京急女子会） （10月上旬予定、主な内容：地域の食材を活用したメニューや地元酒蔵の日本酒の提供など） ウ あきた美彩館企画事業（11～12月） 秋田の「食」「物産」「観光」の情報発信とあきた美彩館への誘客促進のため、新たな企画事業を実施 ②店舗サイン掲出広告料（場所：ウィング高輪センターコート・国道側）			
（4）店舗維持・修繕 （5）アンテナショップ運営業者選考 次期（R5～9年度）管理運営業務委託業者の選考 （6）諸収入 運営業者負担分（諸収入）				
2 福岡アンテナショップ運営事業			819千円	
日本酒を核とした販売拡大イベントの開催 （1）消費者を対象にした試飲販売会の開催 （2）日本酒を中心に秋田の「食」「観光」「物産」の一体的なPRを実施するあきたフェアの開催 （3）秋田の地酒が楽しめる日本酒頒布会の実施				

事業名	秋田の食ビジネスチャンス拡大事業			担当	まるごと売込み班	
事業年度	令和元～3	事業主体	県	当初予算額	9,339千円	
事業目的	これまでの百貨店や飲食店等を対象にした小売商品を中心とした販路開拓に加え、首都圏ニーズが高まっている中食・外食への業務用商品等、多様な販売チャネルを開拓することにより食品産業の振興を図る。			財	一般	9,339千円
				源		
				内		
				訳		
実施内容	1 県産品ビジネスチャンス拡大事業			7,286千円		
	<p>県産食品の販路拡大を図るため、「県産食材マッチング商談会2022」を開催し、本県の食品加工業者と県内外のバイヤー企業とのマッチング機会を創出する。また、リアル（対面）・WEB2つの方式で展示商談や予約個別商談を実施し、新型コロナウイルスの感染状況に応じた柔軟な運営を図る。</p> <p>(1) 開催時期 令和4年7月14日 (2) 開催場所 秋田テルサ（秋田市） (3) 出展者数 90社程度 (4) 来場者数 食品バイヤー企業200社（百貨店・量販店、ほか小売店、卸流通、ホテル飲食店関係）</p>					
実施内容	2 あきた食のチャンピオンシップ開催事業			2,053千円		
	<p>「あきた食のチャンピオンシップ2022（第42回特産品開発コンクール）」を開催し、新たな秋田の顔となる商品を選考し、受賞商品の販路拡大を図る。</p> <p>(1) 募集期間 令和4年5月上旬～6月上旬 (2) 審査会 令和4年6月下旬 (3) 表彰状授与 令和4年7月上旬 (4) 受賞内訳 ①加工品部門又は菓子・飲料部門 金賞1点 ②加工品部門 銀賞1点、奨励賞数点 ③菓子・飲料部門 銀賞1点、奨励賞数点</p>					

事業名	オール秋田で世界へ挑戦！産学官連携輸出促進プロジェクト			担当	調整・食品振興班	
事業年度	令和4～6	事業主体	県・民間事業者	当初予算額	40,472千円	
事業目的	海外で物産展や商談会を開催するなど、食品事業者と連携しながら本県の食と観光を一体的に売り込むことにより県産品の輸出拡大を図る。			財	国庫	11,841千円
				源	一般	28,631千円
				内		
				訳		
実施内容	1 地域商社と連携した共同配送事業			12,811千円		
	<p>(1) 台湾 台湾における県産食品の販路拡大を目的とした物産フェアの開催等 ①台湾現地コーディネーターによる販路開拓 ②県産品物産フェアの開催 ③現地展示会への出展</p> <p>(2) 中国 大連バイヤーの招聘および中国国内での展示会 ①共同配送向け商材発掘のためのバイヤー招聘 ②中国ECサイトでの販売</p>					
実施内容	2 地域教育機関と連携した欧州向けブランディング事業			26,620千円		
	<p>(1) フランス 花善を中心とした「チーム秋田」を活用したプロモーション ①パリでの物産店や販売促進イベント ②国際教養大学の学生と県内事業者の連携による共同商品開発やブランディング化 ③県産商材の商談会</p> <p>(2) フィンランド ヘルシンキにおける秋田県商材のニーズ調査</p>					
実施内容	3 北東北三県・北海道ソウル事務所物産共同事業			1,041千円		
	<p>(1) 韓国 4道県で共同設置している事務所における共同プロモーションの実施 ①輸入商品展示会への出展 ②バイヤー招へいによる商談会の実施</p>					

事業名	発酵の国あきた魅力発信事業		担当	調整・食品振興班	
事業年度	令和2～4	事業主体	県、民間事業者など		
事業目的	本県が誇る優れた発酵食文化をコンテンツとする「あきた発酵ツーリズム」を推進するため、受入体制の充実強化や認知度向上のためのプロモーションを展開し、更なる誘客促進を図る。		財源	当初予算額	8,149千円
			国庫	4,019千円	
			一般	4,130千円	
			内訳		
実施内容	<p>1 発酵の郷づくり推進事業 4,391千円</p> <p>(1) あきた発酵ツーリズム誘客戦略会議開催事業 旅行事業者など発酵ツーリズムに取り組む事業者等により、効果的な誘客促進策を協議する。</p> <p>(2) 発酵の郷づくり推進事業補助金 発酵食文化の拠点施設等を中心として、地域をあげて発酵の郷づくりに取り組む団体等に対し、誘客のためのプロモーション等の活動を支援する。</p> <p>①補助対象者 観光協会、NPO法人等の民間事業者等</p> <p>②採択件数 ①地域での誘客活動等1件 ②全国規模の誘客イベント等1件</p> <p>③補助率 1/2</p> <p>④補助上限額 地域100万円、全国規模300万円</p>				
	<p>2 発酵の国あきた誘客促進事業 583千円</p> <p>令和3年度に制作した「あきた発酵ツーリズムガイドブック」について、新規オープンした施設等の追加など、情報の更新を行う。</p>				
	<p>3 あきたの発酵食文化発信事業 3,175千円</p> <p>(1) あきた発酵カレッジの開催 秋田の発酵食に関する知識を習得するための講座を開講し、発酵食文化の情報発信を担う「あきた発酵伝導士」を育成する。</p> <p>(2) 発酵ツーリズムウェブサイトの情報追加・保守 ウェブサイト「本日あきた発酵中。」による発信力の強化を図る。</p>				

事業名	あきた「食と観光」魅力発信事業		担当	調整・食品振興班 まるごと売込み班
事業年度	令和4	事業主体	県・民間事業者	当初予算額 58,803 千円
事業目的	首都圏をはじめとする大消費地において、本県の気候風土、伝統技術等に裏打ちされた魅力ある食品や観光資源を広くPRするイベント等を断続的に展開することで、新たな「あきたファン」を掘り起こし、県産品の需要拡大とアフター・ウィズコロナを見据えた観光誘客を図る。		財源内訳	58,803 千円
実施内容	<p>1 首都圏における食と観光PR事業 34,220千円</p> <p>(1)「あきたフェア」開催事業 広域的な集客のある商業施設やJR駅などにおいて、本県の食と観光のPRイベントを開催し、秋田の味覚のPRと冬季の観光誘客を図る。 ①開催場所 首都圏の商業施設やJR大宮駅など ②実施時期 令和4年10月～12月（2回）</p> <p>(2) 県産酒販売拡大事業 ①「美酒王国あきた」販路拡大事業 本県の伝統的な技法や特色ある原料で醸された清酒、ワイン等の商談会及び試飲会を開催し、首都圏における需要拡大と蔵巡りなど発酵ツーリズムの周知を図る。 ア 開催場所 東京都内ホテル イ 開催時期 令和5年2月（1日間） ウ 実施内容 県産酒商談会（都内小売店、飲食店等むけ）、秋田のお酒試飲会（一般消費者むけ）、発酵ツーリズムPRブースやお酒に合う発酵食品等の展示販売ブース・商談コーナーの設置 ②県産酒消費喚起キャンペーン事業 コロナ禍で依然として需要が回復していない県産アルコール飲料について、主として県外の消費を喚起するキャンペーンを実施する取組を支援する。 ア 事業対象 株式会社秋田県酒類卸 イ 補助率 2/3以内（上限6,000千円）</p>			
	<p>2 大阪、福岡における食と観光PR事業 12,154千円</p> <p>(1) 大阪における移動アンテナショップ設置事業 アンテナショップの撤退後、県産品や観光等のPR機会の少ない大阪において、現地の県産品取引事業者と連携した移動アンテナショップを設置し、関西圏での県産品の販売促進と観光誘客を図る。 ①開催場所 大阪（阪急梅田駅構内仮設店舗） ②開催時期 令和4年11月（2週間程度） ③実施内容 期間限定アンテナショップの設置、観光PRコーナー（観光PR映像放映等）等</p> <p>(2) 九州での秋田地酒フェアの開催 本県オリジナルの酒米や酵母を使用した清酒が試飲できるコーナーを「みちのく夢プラザ」内に期間限定で設置し、良質な米の旨味が生かされた県産清酒の九州地区での認知度向上と需要の拡大を図る。 ①開催場所 北東北三県アンテナショップ「みちのく夢プラザ」 ②開催時期 令和5年1月（1週間程度） ③実施内容 県産酒の試飲販売</p>			
	<p>3 県関係企業と連携し食と観光PR事業 12,428千円</p> <p>コロナ禍以降、消費者の「健康」嗜好が一層高まっていることから、県内及び首都圏の県関係企業や県内のヘルスケア食品関連企業、菓子製造事業者等と連携し、「食・美・健康」をテーマにした展示・販売イベント等を実施する。</p> <p>(1)「あきた食・美・健康フェア」開催事業 ①開催場所 秋田市内 ②開催時期 令和4年11月（予定） ③実施内容 発酵ツーリズムの紹介コーナー（PR映像、パネル展示等）、健康セミナー、機能性食品や健康に配慮したスイーツの展示販売等</p> <p>(2) 京急あきたフェアの開催 ①開催場所 首都圏（京急百貨店、関連量販等） ②開催時期 令和4年10月～11月 ③実施内容 発酵ツーリズムのPR（PR映像放映、パネル展）、秋田の発酵食をテーマとしたセミナー開催、発酵スイーツの展示販売等</p>			

令和4年度総合食品研究センター職員数及び試験研究課題

1 総合食品研究センター職員数

(令和4年4月1日現在)

場 所 名	総 数	内 訳		
		事 務	技 術	現 業
総合食品研究センター 企画管理室	10	3	7	0
総合食品研究センター 食品加工研究所	9	0	9	0
総合食品研究センター 醸造試験場	10	0	10	0
計	29	3	26	0

2 令和4年度 試験研究課題

課 題	研究期間	予算区分
(政策研究)		
1 微細気泡を利用した新食感食品の開発と応用	令2～4	県単
2 生産地加工における農林水産物の高付加価値化	令4～6	国・県
3 新規麹菌を用いた新たな秋田オリジナル甘酒の開発	令4～6	国・県
4 秋田の清酒業界がポストコロナを生き延びるための革新的清酒製造技術開発	令3～5	国・県
5 新しい生活様式に対応した低アルコール及び複合型アルコール飲料の開発	令4～6	国・県
6 美の国からのヘルス&ビューティフーズ発信	令3～5	国・県
7 ライフステージに応じた機能性食品の開発	令4～6	国・県
8 秋田の酒と食を結ぶ:科学的分析に基づく清酒ペアリング理論の基盤構築	令4	県
(外部資金活用研究)		
9 アグリバイオ・スマート化学生産システムの開発 (内閣府・戦略的イノベーション創造プログラム(SIP))	平30～令4	競争